

博物館をより安心・安全に楽しんでいただくためのお願い

- *新型コロナウイルス感染症の状況により予定が変更になる可能性があります。予めご了承ください。
*ご参加の際はマスクの着用にご協力ください。当日体調に不安がある場合は参加をご遠慮ください。

<イベントについて>

- * 要申込 の表記がないイベントは申込不要です。
* 有料 (材料費や保険料など)の表記がないイベントは無料です。
* 要申込 のイベントは、原則として開催日の一ヶ月前から(一ヶ月前が休館日の場合は翌開館日から)電話もしくは受付カウンターで受け付けます。定員に達したら受付を終了します。イベントの日時や内容に変更が出た場合、その都度ホームページなどでお知らせします。

企画展「震災遺産を考える一次の10年へつなぐために」関連イベント

見どころ解説会 定員100名・先着順 講堂 当館学芸員

- ①2021/1/16(土)13:30~14:00
②2021/1/30(土)13:30~14:00

※2月以降の企画展関連イベントは、企画展チラシ及び次号のなじよなでご案内します。

ミュージアムイベント

けんぱくクリスマスコンサート 要申込 (定員100名)

12/13(日)13:30~15:00/講堂

井上仁一郎さん(ギター)・榎原聡子さん(キーボード)・渡邊奈美さん(朗読)

※クリスマスソングやギターの名曲、お子さんも楽しめる絵本(100万回生きたねこ)の朗読も!

民俗ミニ映画会(全4回)

記録映像で見るふくしまのくらし ①鶏足神社の浜下り(66分)

12/20(日)10:30~/講堂/当館学芸員 定員100名・先着順

記録映像で見るふくしまのくらし ②中ノ沢こけし製作のわざ(25分)

2021/1/17(日)10:30~/講堂/当館学芸員 定員100名・先着順

※初公開も含む、貴重なふくしまの映像記録!

キッズ・ファミリー向けイベント

ワークショップ「おめんをつくろう」 要申込 (各回5グループ、1グループ4名程度まで)

2021/1/9(土)①10:30~11:00 ②11:00~11:30

体験学習室/会津大学短期大学部幼児教育学科の皆さん

※自然の素材をつかっておめんを作ります。

てわざを楽しむ 実技講座

からむしにふれる~からむし縄のマスク作り~

要申込 (定員10名) 有料 (白マスク1,000円、色付きマスク1,200円)

2021/1/23(土)13:30~15:00/体験学習室/加藤萌絵さん(からむし作家・研究生)

田嶋紀佳さん(からむし織研修生)

※からむしの手触りを楽しみながら作った縄を紐にするマスク作り。

からむし糸でマスク生地への刺繍もできます。

※対象小学生以上、小学校低学年は保護者同伴でお申込ください。

ポイント展ミニ解説会

ポイント展「チャレンジ!今月の古文書・正月編」ミニ解説会

定員100名・先着順

2021/1/29(金)13:30~14:00/講堂/阿部綾子(当館学芸員)

※常設展示室で開催中の、「くずし字」読みに挑戦していただくポイント展。その答え合わせをします!

より深く知りたい!聴きたい! 講座いろいろ

いまさら聞けないこづゆのアレコレ 要申込 (定員10名)

12/6(日)13:30~14:30/実習室/江川トヨ子(当館学芸員)

※こづゆ作り未経験者向けです。あるお宅のこづゆ作りをのぞいてみませんか?

やさしい焼きもの講座2-大堀相馬焼のいま・これから

定員100名・先着順

12/12(土)13:30~15:00/講堂/小野田利治さん(大堀相馬焼協同組合理事長)

※テーマ展「ふくしまの焼きもの1」と連動した講座です。成形や釉薬などの技法や、

現在も生産地が帰還困難区域に指定されている大堀相馬焼のいま、これからを伺います。

はじめてさんの古文書講座3 要申込 (受付を終了しました)

12/19(土)13:30~15:00/講堂/高橋充(当館学芸員)

詩人のいる博物館② 会津を語る、詩を語る 要申込 (定員100名)

2021/1/31(日)13:30~15:00/講堂

和合亮一さん(詩人)、佐藤巖太郎さん(小説家)

※『会津執権の栄誉』の作者・佐藤巖太郎さんを迎えての注目の対談!

2021年1月5日から申込を受け付けます。

中面のクイズの答え:ア-2 イ-1 ウ-3 ぜんぶ分かったかな?展示も見に来てね!

<中止になったイベント> 下記イベントは中止になりました。

12/12「実技講座 大堀相馬焼をつくろう②」

テーマ展 山川浩と健次郎

2021年1月16日(土)~2月28日(日)

会場 常設展部門展示室「歴史・美術」



山川健次郎愛用の懐中時計

*詳しい内容は、次号のなじよな(2・3月号)でご紹介します!

会津藩士の家に生まれ、東京帝国大学(現東京大学)総長などを務めた山川健次郎。いつも懐中時計を手もとにおいて規則正しい生活を心掛け、子どもたちにも時間を守ることの大切さを説いていました。当館寄託の資料から山川兄弟に迫る本テーマ展。健次郎愛用の懐中時計も展示します。お楽しみに。

ポイント展

*ポイント展は、収蔵品を中心に、特別に公開する資料などを1点から紹介する小規模展です。

・道具とくらしのうつりかわり-食事を彩る道具たち

11/27~2021/2/23

*日々の暮らしを大切に作る姿がそこにはありました。

・古代あいつの仏教文化-湯川村堂後遺跡-

12/12~2021/2/21

*「寺」と書かれた土器からわかることは?

・チャレンジ!今月の古文書 正月編

2021/1/5~1/31

*江戸時代の「くずし字」読みにチャレンジ!

お正月にちなんだ資料を出題します。

回答は1/29の解説会にて。

・サンゴ化石の世界

2021/1/30~3/5

*澄みきった南の海のサンゴ礁...

化石を調べると、サンゴには5億年以上の歴史があることがわかります。



氷冷蔵庫

2020年12月・2021年1月イベントカレンダー

Calendar grid showing dates for December 2020 and January 2021. Includes a legend for '休館日' (Closed) and 'イベント開催日' (Event).

- 常設展観覧料 一般・大学生280円(20名様以上の団体は220円)
■企画展観覧料「震災遺産を考える」一般・大学生500円(20名様以上の団体は400円)
*企画展チケットで常設展もご覧いただけます(企画展開催中有効)。
*高校生以下は常設展・企画展ともに無料です。
■年間バスポート 1,500円 購入日から一年間、当館主催の企画展や常設展が何度でもご覧いただけます。



- JR会津若松駅から約3km
-タクシーで約10分
-まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)
-まちなか周遊バス「あかべえ」で約30分(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)

- ♿ 車椅子使用者用駐車場
博物館西側「鶴ヶ城三の丸口」バス停そば:2台
一般駐車場内博物館入り口側:3台
※ご不明の点はお問合せください。

福島県立博物館 Fukushima Museum

開館時間9:30~17:00(最終入館は16:30まで)
お問い合わせ TEL0242-28-6000 FAX0242-28-5986 〒965-0807 会津若松市城東町1-25
HP https://general-museum.fcs.ed.jp e-mail general-museum@fcs.ed.jp

<編集後記>
年が移り変わる時期になりました。2020年は東京オリンピックに沸くはずが、世界中がコロナウイルス感染症に揺れた1年となりました。当館も、我々が出来る役割とは何か、深く考えさせられた1年となりました。早い終息を願いますが、できる対策を行いながら、できることをしていきたいと思えます。2021年が良い年となりますように。(A)

なじよなVol.4 12・1月号 2020年11月25日発行 発行/福島県立博物館



「雪ひの冬 確たる冬」

令和2年度 冬の企画展 震災遺産を考える—一次の10年へつなぐために—

2021年1月16日(土)~3月21日(日)

東日本大震災の発生から10年がたちます。「震災遺産を考える」をテーマとして、当館ではこれまで、毎年特集展を開催してきました。こうした積み重ねを踏まえ、今回は初めて企画展として展示会をご覧いただきます。震災遺産収集の背景や、収集にたずさわった学芸員の思いなど、新たな視点を加えた展示です。本展を通して、これからの10年を一緒に考えてみませんか。



平成27年度特集展



平成28年度仙台セッション(せんだいメディアテークにて)



平成30年度特集展より(被災したパトカー)



平成30年度特集展より(南相馬市ヨッシーランド壁紙)



令和元年度特集展より(浪江中学校避難所の再現)

牛がじった柱レプリカ



担当を聞きたい!

【筑波匡介さんインタビュー】



企画展担当 筑波匡介さん(当館学芸員)

【Q1/展示会のねらいは?】
展示会が目指すキーワードは「自分事化」と「未来」です。展示をご覧になった方が、「ふくしまの経験」を自分の事として身近に感じ、ご自身との対話の場としていただけたらうれしいです。東日本大震災という大災害から、私たちは何を受け取るべきなのか。当館も手探り状態で考え続けてきました。当館が過去5回の特集展のタイトルを一環して「震災遺産を考える」としてきたのは、こうした理由があります。簡単に答えが出ない問題だからこそ、「考える」場をつくり、これからの10年を皆さんと一緒に考えていける展示会を目指します。それで今回は副題を「次の10年へつなぐために」としました。

【Q2/今年は展示にあわせて「記録誌」ができます。その思いを一言。】
震災から10年が経過した今、これからの10年を歩むためにここで振り返ることが必要だと思ひ、さらにこの振り返りの作業を内外へ伝えてゆくに、記録誌を作ることにしました。これは単なる展示図録ではなく「震災遺産を考え」続けてきた、10年間の軌跡をまとめたものです。展示会とあわせて、ぜひ手に取って見てください。



平成26年度調査 角部内(南相馬市)の徳利

【会場】企画展示室
【観覧料】一般・大学生 500円(20名以上の団体400円) / 高校生以下 無料
*企画展料金で常設展もご覧いただけます(会期中有効)。
【年間パスポート】1,500円
*ご購入日より一年間、当館の常設展・企画展(当館主催のみ有効)を何回でもご覧いただけます。

*企画展「震災遺産を考える」の構成や詳しい内容は、次号のなじよな(2・3月号)でご紹介します!

テーマ展 ふくしまの焼きもの1—大堀相馬焼—

11月14日(土)~2021年1月11日(月・祝) 会場/常設展部門展示室「歴史・美術」



テーマ展担当 原惠理子さん(当館学芸員)



金彩駒絵神酒徳利



柿輪黒流掛油壺



色絵菊文土瓶



青土瓶

※写真はすべて南相馬市博物館蔵

展示構成
ポイント① 駒絵・青ひび・二重焼
*大堀相馬焼の典型的な技法をご紹介します!
ポイント② だけじゃない!大堀相馬焼
*ひびのない銅緑釉(青色)の土瓶・柿輪・色絵など、技法・装飾が実はさまざま。大堀相馬焼の奥深い魅力をご紹介します!
ポイント③ 大堀相馬焼の「いま」
*2011年の東日本大震災後の大堀相馬焼についてお伝えします。

焼きものが専門の原さん。焼きものをテーマに据えた初担当のテーマ展は、「大堀相馬焼」を取り上げます。今回は江戸時代末〜明治時代にかけて製作された約20点のほか絵手本や、代表的な技法の一つである二重焼の構造が分かる資料など、大堀相馬焼がよく分かる周辺資料も展示。あわせて東日本大震災後の大堀相馬焼に注目し、被災についてや再興に向けた釉薬の開発についてもご紹介します。

収納庫なじよな

お花かな? マラカスかな?

「シュードキダリス」

この写真を見て、何か分かりますか?シュードキダリスという名前で、スペインのジュラ紀の地層から産出した化石です。中心の丸い部分からマラカスのようなものが生えていますね。実は原始的なウニで、マラカスのようなものは棘なのです。残念ながら、棘が折れやすいためあまり展示をする機会がありません。折れた棘の化石は南相馬市からも発見されています。なお、この仲間は今でも日本近海を含む海に生きていて、水族館でも見ることがあるかもしれませんよ。(猪瀬)

美術で感じる季節

柳下放牛図

くりくりおめアプ!

令和3年の干支は丑。みなさんの牛のイメージはどのようなものでしょうか。大きな体。ゆったりした動き。優しい目。荷物を運んだり田畑を耕したりと長く私たちの暮らしに力を貸してくれた牛は家族のような動物であり、貴重な財産とも考えられてきました。そのため奪われる恐れなく牛が野に放たれる姿は、平和の象徴とされてきました。大きな柳の木の下に二匹の牛が描かれた本図も世の平和を願って描かれたものでしょう。佐竹永海は会津出身の江戸時代の絵師。江戸で谷文晁に学んだ後、彦根藩のお抱え絵師となりました。華やかで品格ある作風の永海。本図でも二匹の牛の愛嬌あふれる表情や柳の若葉が揺れる春の穏やかさを品よくまとめ、安寧の空気感をよく伝えています。のんびり、ゆったり、のびのびと。そして全ての人が平和に過ごせる令和3年になりますように。(小林) *注意:展示はしていません。紙面でお楽しみください。

柳下放牛図 佐竹永海 江戸時代後期 当館蔵

きっぱなじよな

けんぱくから子どもたちへのメッセージコーナー

謎の忍者マッキー フタバスキリュウズッキー

- 1** **ねえねえマッキー!** マッキーは「カゴ」「ザル」って何に使うか知ってる?
マ さかなを獲るときに使ったことがあるよ! いっぱい捕まえたな~
ス 忍法「無難りの術!!!」
- 2** **使ったことがあるだね!**じゃあ、編み方をちゃんと見たことある? え?「カゴ」「ザル」の編み方って全部同じじゃないの?
ス 入れるものによって、「カゴ」や「ザル」の編み方がそれぞれ違うんだ。ここでクイズです!
マ 3つの網目と使い方を線で結んでみよう!
- 3** **網目** 網目をよく見ると、網目の大きさが違うね! 網目の大きさと入れるモノの大きさを照らし合わせてみるとわかるかも!?
ス ポイント展「道具とくらしのうつりかわり」を見ると、この網目のカゴやザルがどんな形かわかるよ。

使い方 ●1 米をとく ●2 イモを茹からはこぶ ●3 ダンゴをゆでる

※こたえは「なじよな」のどこかにあるよ!

「カゴ」や「ザル」の網目っておもしろい!! の巻